

**神奈川県内広域水道企業団**

# **実施計画**

**令和3～7年度**

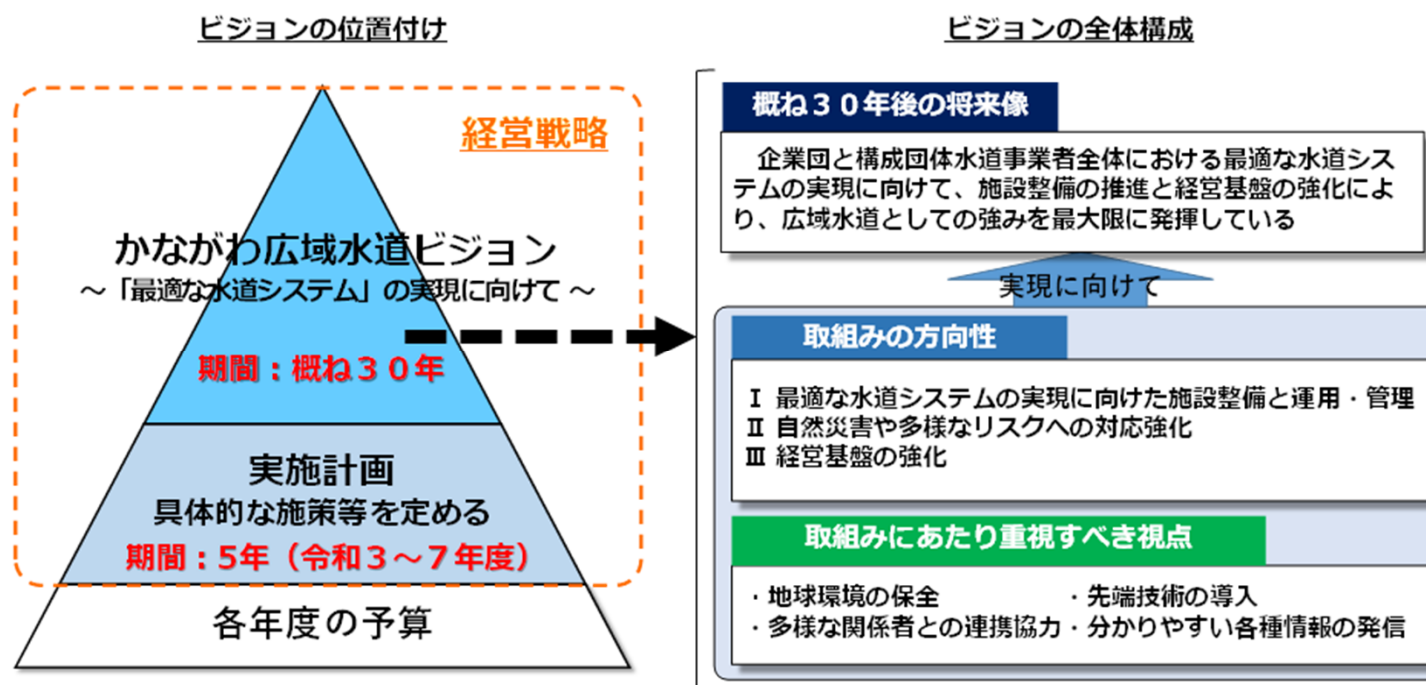
**令和3年度末現在の実施状況**



# 1 実施計画(令和3～7年度)の実施状況について

令和3年度末現在

- 神奈川県内広域水道企業団では、かながわ広域水道ビジョンと具体的な実施施策を定めた「実施計画（令和3～7年度）」のもとで、概ね30年後の将来像の実現に向けた取組みを推進しています。
- 実施計画の各取組みは、毎年度、実施内容と関連業務指標及び工事・委託の契約状況を用いて実施状況を確認することとしています。
- 実施計画初年度（令和3年度）の実施状況は、次頁以降のとおりです。



(注) ビジョンと実施計画を一体のものとして、総務省が地方公営企業に策定を要請する「経営戦略」に位置付けています。

## 2 実施計画(令和3～7年度) 令和3年度の実施状況

### 令和3年度の総括

実施計画初年度は、ビジョンの3つの取組みの方向性に沿って、次のとおり取組みを推進しました。

#### I 最適な水道システムの実現に向けた施設整備と運用・管理

今後の水道施設の再構築に係る施設整備・費用負担のあり方に係る検討や、上流水利権の活用に向けた申請を行い、将来の安定給水の確保や効率性の向上に向けた取組みを進めました。

#### II 自然災害や多様なリスクへの対応強化

取水施設の浸水対策として止水板等を設置するとともに、施設全体を囲む防水壁設置に向けた検討を進めています。また、災害時にも安定した電源が確保できるよう相模原ポンプ場の非常用発電機の更新等に着手し、危機管理への対応力の強化を進めました。

#### III 経営基盤の強化

将来の施設整備の財源を確保するため建設改良積立てを実施したほか、人材の確保・育成を進めるとともに、官民連携により浄水場や管路の更新に係る共同研究を開始しました。さらに、脱炭素化やDX（デジタルトランスフォーメーション）推進についての検討も進めました。

- このように各取組みは概ね順調に推移しておりますが、入札不調や半導体不足、新型コロナウイルス感染症の影響等により、実施施策の一部について、遅れが生じた工事や取組みがあることから、令和4年度以降着実に遅れを解消していきます。

### 3 実施計画(令和3～7年度) 実施状況の評価(令和3年度)

#### I 最適な水道システムの実現に向けた施設整備と運用・管理

〔○：順調、△：一部遅れ等（▲：外的要因による一部遅れ等）〕

※下線部：遅れの内容

取組み		令和3年度の主な取組み	実施状況
取組 1	浄水場の増強と送水管等の整備	・綾瀬及び相模原浄水場の増強検討	○
		・新たな供給エリアに向けた送水管の整備検討	○
取組 2	安定的かつ効率的な水運用と原水の確保	・相模川上流の水利権活用に係る水利使用申請書（申請は県）及び事業認可変更申請書の提出	○
取組 3	浄水処理と水質管理の強化	・浄水処理実験装置（ミニプラント）の設置	○
		・広域水質管理センター機能拡大について検討・協議	○
取組 4	CO <sub>2</sub> 排出量削減等の環境負荷軽減	・脱炭素推進のためプロジェクトチーム設置、施策立案	○
		・CO <sub>2</sub> 排出量削減のため、水力発電由来の電力を導入	○
		・相模原及び綾瀬浄水場排水処理の乾燥工程を撤去	○
取組 5	効率的な点検と計画的な修繕・更新	・ペーパーレス推進（WEB会議や簡易電子決裁を活用）	○
		・施設の修繕・更新工事は、概ね計画通り着手	▲
		・ <u>半導体不足等の影響により、一部の工事で工期延長</u>	○
		・送水管延命化のため、マクロセル腐食対策工事を実施	○
取組 6	施設の維持管理性の向上	・施設管理システム改善に向け調査・検討	○
		・飯泉取水施設の排砂処理方式変更等は概ね計画通り着手	▲
		・ <u>大型鋼材の納入遅延により、一部の工事で工期延長</u>	○
		・浄水場送水系統間の連絡管整備検討	○

## Ⅱ 自然災害や多様なリスクへの対応強化

〔○：順調、△：一部遅れ等（▲：外的要因による一部遅れ等）〕

※下線部：遅れの内容

取組み		令和3年度の主な取組み	実施状況
取組7	自然災害に備えた対策 事故等の多様なリスクへの 対策	・ 取水施設浸水対策が一部完了、防水壁設置に向け検討	○
		・ 相模原ポンプ場の非常用発電機の更新に着手 ・ <u>西長沢浄水場の受電2系統化工事において、半導体不足の影響により工期延長</u> ・ 地下燃料タンク増設箇所について検討	▲
取組8	非常時における組織対応力の 強化、非常時の応急復旧 における協力体制の構築	・ 各種訓練を実施（ <u>新型コロナ流行により一部訓練が未実施、代替訓練への見直しが不十分</u> ）、既存マニュアル類の見直し	△
		・ 構成団体との情報共有のため、LINEWORKSを活用	○

## Ⅲ 経営基盤の強化

取組9	長期的な視点に立った財政 運営	・ 再構築の財源確保のため、建設改良積立てを実施 ・ 補助制度創設に向け、構成団体と要望活動を実施（ <u>採択要件の緩和には至っていない</u> ）	△
		・ 元利償還金負担軽減のため、充当率40%以下で起債	○
取組10	事業環境の変化に応じた事 業運営	・ 組織改編（1室3部体制への移行）を実施	○
		・ DX推進のためプロジェクトチーム設置、施策立案	○
		・ 官民連携ガイドラインを策定・公表、共同研究を公募し、2件が実施に移行 ・ <u>伊勢原浄水場運転管理委託受注者で行っている共同検証実験において、仮設設備の不具合により一部遅れ</u>	△
取組11	人材の確保・育成	・ 専門技術者等確保に係る採用を実施（IT関連2名） ・ <u>人材育成に係るエキスパート型職員の制度検討に遅れ</u>	△
取組12	創造力・活力のある職場づくり	・ 他団体との人事交流実施（派遣・受け入れ、各3名） ・ 民間提案の採用として、西長沢浄水場浄水処理に係る共同実験、管路の更新手法に係る共同研究を開始	○



## 4 各取組みに関連する指標

I 最適な水道システムの実現に向けた施設整備と運用・管理	項 目	R1	R2	R3	R7目標	備 考
	1m <sup>3</sup> あたりの電力消費量 (kWh/m <sup>3</sup> )	0.47	0.47	0.48	0.43	R3 他事業体の施設調査への協力に伴う臨時的な電気使用量等の増分を含む（増分を除いた値は、各々0.47kWh/m <sup>3</sup> 、4.64MJ/m <sup>3</sup> ）
	1m <sup>3</sup> あたりの消費エネルギー(MJ/m <sup>3</sup> )	4.67	4.64	4.75	4.19	
	浄水発生土の有効利用率 (%)	100	100	100	100	
	かび臭の独自水質管理値達成状況(%)	100	100	100	100	
	総トリハロメタンの検出状況(mg/L)	0.007	0.007	0.006	— *	*傾向を評価する指標のため目標は定めていない (国の基準値 0.1 以下、企業団管理値 0.01 以下)
II 自然災害や多様なリスクへの対応強化	項 目	R1	R2	R3	R7目標	備 考
	浄水施設の耐震化率 (%)	32.9	100	➡	100	R2年度完了
	ポンプ所の耐震化率 (%)	90.9	100	➡	100	R2年度完了
	送水施設（調整池）の耐震化率 (%)	51.7	66.5	66.5	100	R5年度100%予定
	72時間以上の燃料確保率浄水場(%) (確保できる浄水場数/全浄水場数)	0	75 (3/4)	75 (3/4)	100 (4/4)	ランニングストックの導入による
	災害対策訓練の計画に対する実施率%	100	47	62	100	R2、R3新型コロナによる影響
III 経営基盤の強化	項 目	R1	R2	R3	R7目標	備 考
	給水収益に対する企業債残高の割合%	268.8	241.0	207.1	200以下	企業債発行額の抑制及び償還の進行による
	給水収益に対する企業債元利償還金の割合(%)	49.8	45.2	43.5	30以下	
	内外部の研修計画に対する実施率(%)	100	35.0	52.1	100	R2、R3新型コロナによる影響
	水道技術に関する資格取得 (件)	97	102	106	125	
	採用試験受験者数 (人) ※試験方式見直しを踏まえ、R7カッコ内受験者数の達成を目指す	71	182	200	115 (230)	R2、R3試験方式の見直し、社会環境（コロナ禍）による影響

## 5 施設整備に係る工事・委託の実施状況(発注件数ベース) ※対象：1件1千万円以上の工事等

項 目	主な取組み	施設整備に関する工事・委託の実施状況 (当該年度までの発注件数／5カ年分の件数)				
		R3	R4	R5	R6	R7
再構築	浄水場増強・送水管整備の設計	28.6 %				
浄水処理・ 水質管理	浄水処理実験装置（ミニプラント）の 設置	100 %	ミニプラント設置、R3年度完了 R4年度より粒状活性炭等の調査研究			
環境	相模原・綾瀬浄水場排水処理施設の施 設改良（乾燥土から脱水土へ）	100 %	乾燥工程廃止、R3年度完了 R4年度より全浄水場脱水土による搬出			
修繕	排水処理設備機器、沈でん池・ろ過池 機器、相模大堰ゲート設備等の修繕	17.0 %				
更新・改良	・監視制御設備、電気設備、薬品注入 設備、ポンプ設備等の計画的な更新 ・既設管路の更新設計等	21.8 %				
浄水場更新	西長沢浄水場の更新に向けた検討	0 %	R3年度は、R4年度発注の検討業務委託の予算化			
機能向上	相模原浄水場排水処理施設の増設、飯 泉ポンプ場排砂処理施設の更新等	30.4 %				
耐震化	送水施設（調整池）の耐震化	55.6 %				
浸水・停電・ テロ対策	取水施設浸水対策、非常用発電設備更 新・燃料タンク増設、施設覆蓋化検討	33.3 %				
全体		21.9 %				